

2009年度第1～3四半期累計 連結決算ハイライト (米国会計基準)

2009年度第1～3四半期累計決算の概要

(単位: 億円 △損失、減少)

- 当第3四半期累計の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比821億円減益の806億円。通期見通し1,300億円に対して62%の進捗となった。繊維、情報通信・航空電子、不動産等、下期偏重型ビジネス分野を数多く抱える当社の業績推移及び期初1-3Q累計計画対比を踏まえた現時点での判断としては、まずまずの進捗と考えている。各セグメント別の通期見通しに対する進捗率は、繊維63%、金属・エネルギー71%、生活資材・化学品75%、食料100%(下記「オペレーティングセグメント情報」参照)となっており、通期見通しの絶対額の大きいセグメントの進捗率は順調である。セグメント別の「当社株主帰属四半期純利益」は、食料が前年同期比74億円増益の259億円。金属・エネルギーは大幅減益となったが、424億円を確保。加えて、繊維が132億円、生活資材・化学品が127億円と4セグメントで100億円超達成。機械は18億円、情報通信・航空電子は4億円、金融・不動産・保険・物流は17億円となった。分野別の「当社株主帰属四半期純利益」の比率は、資源エネルギー関連53%、生活消費関連51%、その他△4%となった。金属資源関連及び食料等における新規大型投資の成果については、右欄「事業会社(取込損益)」に記載の通り、堅調推移となっている。株主資本は、当社株主帰属四半期純利益の積上げ、為替換算調整額・未実現有価証券損益の改善により、1,510億円増加の1兆4億円。NET DERは0.2ポイント改善し1.8倍。

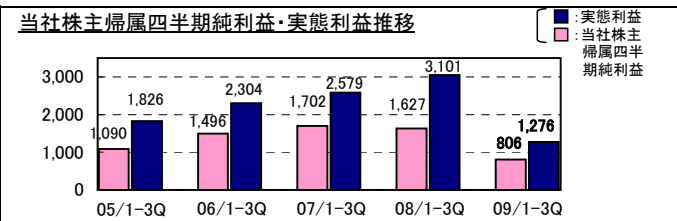
経営成績表の表頭部分。2009年度1-3Q累計、2008年度1-3Q累計、前年同期比増減額、増減率(%)、主たる増減要因、通期見通し(10月30日公表時)進捗率(%)

収益表。収益25,139、売上総利益6,761、営業利益930、実態利益1,276。各項目の増減額と増減率を示す。

増減要因表。収益9,500(71.2%)、売上総利益7,900(73.2%)、営業利益1,300(62.0%)、実態利益1,276(61.6%)。各項目の増減額と増減率を示す。

参考表。売上高74,971(22.0%)、売上総利益率9.0%、営業利益2,419(61.6%)。

実態利益表。実態利益1,276(58.9%)。実態利益は売上総利益+販売費及び一般管理費+金融収支+持分法による投資損益。



増減要因の注釈。注1) 繊維/増益: 繊維原料、織物、衣料品等は市況低迷により減少するも、機織/増益: 自動車、建機取引の不調に伴う売上減により減益。注2) 食料/増益: 飼料穀物・油脂等の増益及び食品流通関連子会社での増益。注3) 固定資産に係る損益: 前年同期のエンターゲ油ガス田開発計画中止に伴う損失処理(ii)/その他の減損処理等(ii)の反動+338((i)+266/(ii)+72)。

配当状況(1株当たり)表。年間(予想)15円、中間7.5円。

(注1) 繊維/増益は、2010年1月1日に伊藤忠ロジスティクス(株)に商号変更しております。(注2) 当社の公表日以降に業績の公表を個別に行うため、これ以外の取込損益の記載を控えております。

オペレーティングセグメント情報表。売上総利益(注3)と当社株主帰属四半期純利益の対比表。

セグメント別の業績推移表。繊維、機械、情報通信・航空電子、金属・エネルギー、生活資材・化学品、食料、金融・不動産・保険・物流、その他及び修正消去、合計の増減額と増減率を示す。

当社株主帰属四半期純利益の会社区分別内訳表。単体、事業会社、海外現地法人、連結修正の増減額と増減率を示す。

内、海外事業損益(注4)表。海外事業損益比率を示す。

黒字会社率(事業会社+海外現地法人)表。黒字会社率65.7%、黒字会社数276社、赤字会社数144社、合計420社を示す。

黒字・赤字会社損益(事業会社+海外現地法人)表。黒字会社利益1,114、赤字会社損失235、合計878を示す。

内、事業会社) 黒字会社利益1,050、赤字会社損失231、合計819を示す。

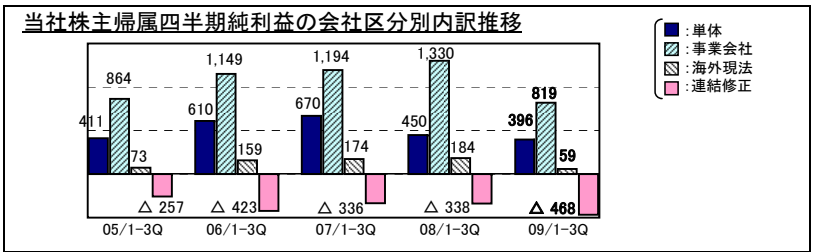
内、海外現地法人) 黒字会社利益64、赤字会社損失4、合計59を示す。

財政状態表。総資産56,133、有利子負債22,846、NET有利子負債18,264、株主資本10,004、NET DER 1.8倍を示す。

キャッシュ・フロー表。営業活動によるCF 1,143、投資活動によるCF △1,559、財務活動によるCF △1,386を示す。

現金・現金同等物期末残高表。2009年度1-3Q累計4,532、2008年度1-3Q累計4,622を示す。

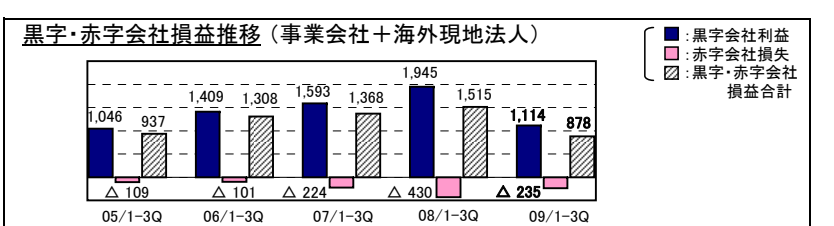
主要指標表。3月決算会社、12月決算会社の為替レート(円/US\$)と変動幅を示す。



(注4) 海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び収益源が海外にある特定海外事業のため日本に設立された会社の損益を加えたものです。

事業会社(取込損益)表。事業会社234、2008年度1-3Q累計646、主たる増減要因として金属資源価格下落により減益を示す。

伊藤忠都市開発(株)と日伯紙パルプ資源開発(株)の損益推移表。



総資産表。総資産55,000、有利子負債24,000、NET有利子負債19,000、株主資本10,000、NET DER 1.9倍を示す。

(注6) NET DERの計算に用いる「株主資本」は、当社に帰属する株主資本(非支配持分控除後)の金額を使用しております。

2009年度第1～3四半期累計のキャッシュ・フローの状況表。営業活動CF、投資活動CF、財務活動CFの増減額を示す。

(注7) 2009年2月10日に公表いたしました「(訂正)平成21年3月期 第3四半期決算短信の一部訂正について」に伴い、前年同期の数値を修正して表示しております。

主要指標表。金利、為替レート、ブレント原油価格の変動幅を示す。